



日本政策金融公庫
国民生活事業のご案内

2022



日本政策金融公庫

Contents

2	ごあいさつ
3	日本政策金融公庫の概要
4	国民生活事業の概要
5	融資の特徴
7	セーフティネット機能の発揮
11	成長戦略分野への取組み
19	生活衛生関係業者への支援の取組み
22	支援機関との連携
23	地域金融機関との連携
24	教育ローンによる支援
25	サービス向上への取組み
27	デジタル化への取組み
28	国際交流の取組み
29	融資制度一覧
32	店舗地図

(注)本誌の計数について

1. 単位未満の計数

先数、件数及び金額の単位未満は切り捨てています。

また、比率(%)は原則として表示前桁を四捨五入しています。したがって、合計欄の計数は、内訳を集計した計数と一致しないものがあります。

2. 表示方法

単位に満たない場合は「0」と、該当数字のない場合は「—」と表示しています。

ごあいさつ

平素より日本政策金融公庫国民生活事業の業務にご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。

当事業は、小規模事業者の皆さまを支援する事業資金融資のほか、お子さまの入学資金などを必要とされる皆さまへの教育資金融資など、生活に密着した融資を行っております。

令和3年度につきましては、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響を受けられた皆さまへの資金繰り支援に取り組むとともに、事業継続や成長を支援すべく、融資後のフォローアップに力を入れてまいりました。

事業者の皆さまはコロナ禍の長期化にくわえ、原材料の高騰・ウクライナ情勢の変化など、さまざまな問題に直面されています。こうした皆さまの声に耳を傾け、必要とする支援を的確に実施するなど、セーフティネット機能の発揮に努めてまいります。

また、政府の成長戦略等に沿って「創業」、「事業承継」、「事業再生」、「ソーシャルビジネス」、「海外展開」等の分野にも積極的に取り組んでまいりました。

創業支援につきましては、地域活性化における重要施策であり、スタートアップや女性・若者、移住創業者など、幅広い層への支援を推進しております。創業時の資金ニーズに対応するとともに、「創業後」の課題解決に貢献し、事業が軌道に乗るための支援にも注力しております。くわえて、将来を担う若者の創業マインドの向上を図るため、「高校生ビジネスプラン・グランプリ」を開催しております。引き続き、創業支援の経験・ノウハウを起業教育の現場に還元してまいります。

事業承継支援につきましては、経営者の高齢化が進む状況下における重要な施策であり、後継者が不在の小規模事業者の方々等と創業希望の方々等をつなぐ「事業承継マッチング支援」の全国展開を本格化するとともに、イベントの開催や成功事例の発信などに取り組んでまいりました。小規模事業者の皆さまが培ってきた技術・ノウハウなどの貴重な経営資源が円滑に引き継がれるよう、「地域の想いを次世代につなぐ架け橋」として、今後も積極的に事業承継支援に取り組んでまいります。

事業再生支援につきましては、お客さまからのご相談に柔軟に対応するとともに、経営改善計画書の策定支援などを通じて経営の立て直しを図る小規模事業者の皆さまを支援してまいりました。今後も、地域金融機関などの支援機関と連携し、資本の増強につながる資本金ローンも活用しながら、皆さまの事業継続に向けた再生支援を推進してまいります。



ソーシャルビジネス支援につきましては、NPOと企業の連携・協働を促進するためのWebページ「ソーシャルビジネスステーション」の開設、海外展開支援につきましては、輸出に取り組む企業事例の発信など、両分野において情報提供に取り組んでまいりました。引き続き、地域や社会が抱える課題の解決や海外展開に取り組む皆さまを支援してまいります。

さらに、政策金融の的確な実施に向け、地域金融機関との連携を推進しております。地域金融機関との対話を深め、協調融資商品の創設・活用や、当事業からのお客さまの紹介などを推進することにより、小規模事業者の皆さまと地域金融機関をつなぐ取り組みに注力してまいりました。引き続き、地域金融機関と連携し、小規模事業者の皆さまへの資金繰り支援をはじめ、さまざまな経営課題の解決を支援してまいります。

教育に関する家庭の経済的負担の軽減と教育の機会均等を目的とする「国の教育ローン」につきましては、40年以上にわたり多くの皆さまにご利用いただいております。引き続き、お子さまの入学・在学資金を必要とされる皆さまへの支援を推進してまいります。

今後におきましても、商工会議所・商工会や税理士会などの関係機関と連携を図り、小規模事業者の皆さまを全力でサポートしていくとともに、オンラインサービスである「日本公庫ダイレクト」や「インターネット申込」の利用促進など、政府の推進するデジタル化施策にも積極的に取り組み、政策金融機能の発揮に努めてまいります。

皆さまの一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株式会社日本政策金融公庫

国民生活事業本部長 富山 一成

日本政策金融公庫の概要

日本政策金融公庫は、国民生活金融公庫、農林漁業金融公庫、中小企業金融公庫を前身とする政策金融機関です。

日本政策金融公庫のプロフィール(令和4年3月31日時点)

- 名称：株式会社日本政策金融公庫(略称：「日本公庫」)
- 設立年月日：平成20年10月1日
- 根拠法：株式会社日本政策金融公庫法
- 本店：東京都千代田区大手町1-9-4
大手町フィナンシャルシティ ノースタワー
- 総裁：田中 一穂
- 資本金等：資本金 11兆6,127億円
資本準備金 5兆3,941億円
- 支店等：国内 152支店
海外駐在員事務所 2カ所
- 職員数：7,436人(令和4年度予算定員)
- 総融資残高 29兆1,515億円
 - 国民生活事業 12兆6,962億円
 - 農林水産事業 3兆5,517億円
 - 中小企業事業(融資業務) 8兆4,326億円
 - 危機対応円滑化業務 4兆3,599億円
 - 特定事業等促進円滑化業務 1,108億円

基本理念

● 政策金融の的確な実施

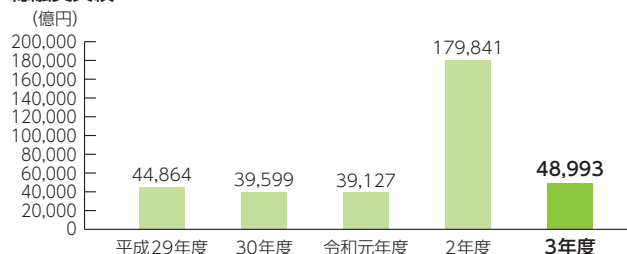
国の政策の下、民間金融機関の補完を旨としつつ、社会のニーズに対応して、種々の手法により、政策金融を機動的に実施する。

● ガバナンスの重視

高度なガバナンスを求め、透明性の高い効率的な事業運営に努めるとともに、国民に対する説明責任を果たす。

さらに、継続的な自己改革に取り組む自律的な組織を目指す。

総融資実績

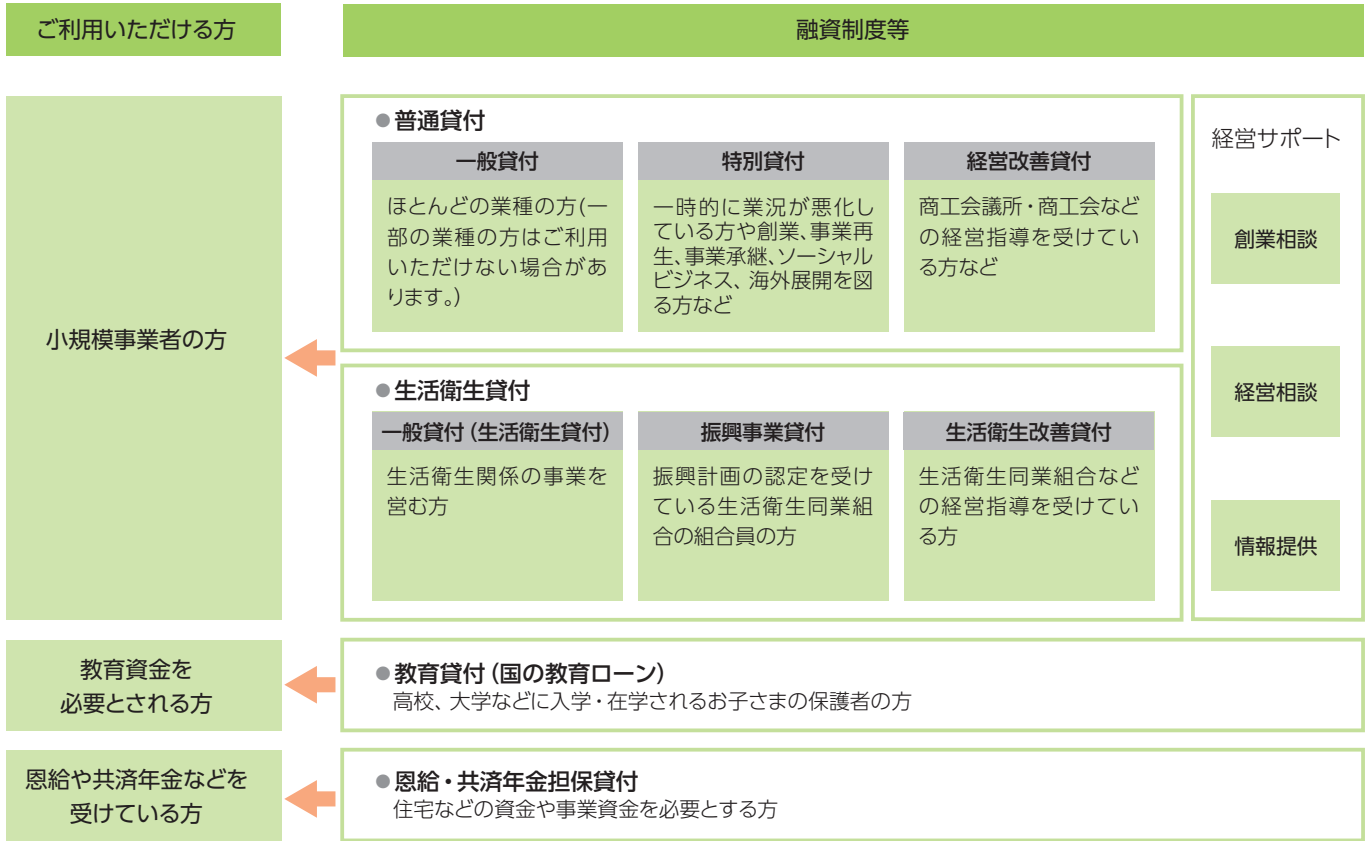


日本政策金融公庫の主な業務

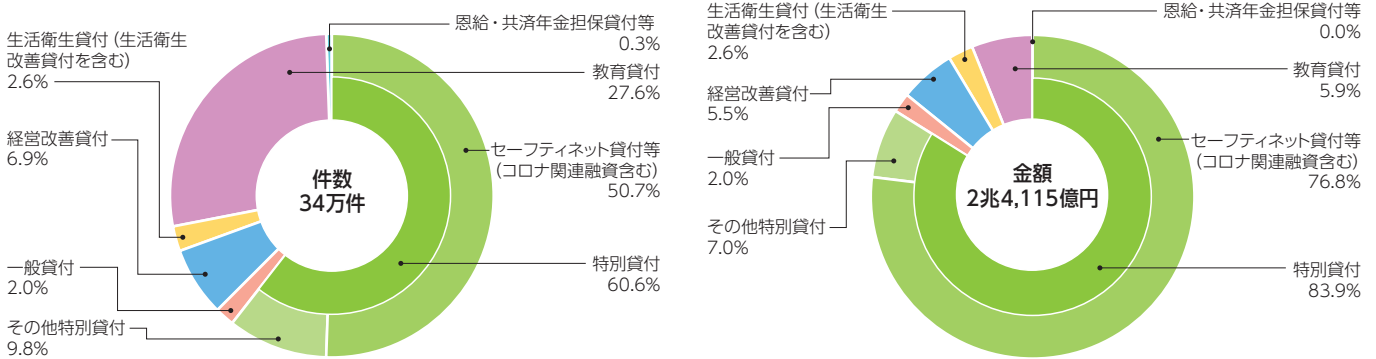


国民生活事業の概要

事業資金をはじめ、国民生活に密着した多様な融資を行っています



融資実績の内訳(令和3年度)



融資残高の内訳(令和3年度末)

